marantz®

Model ST6000A 取扱説明書

TUNER

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⦸ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

警　告

電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

警 告

● 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

● この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔をあけてあります。次のような使い方はしないでください。
この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用する。

● この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

● 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注 意

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

注 意

● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子⊕とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● この機器の上に物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

● 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

● 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

電源プラグをコンセントから抜く

● 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

● 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

目　　次

ご使用の前に

■ 次の場所には本機を置かないでください。

製品を長くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所。
- 風通しが悪く、湿気や埃の多い場所。
- 振動や傾斜のある不安定な場所。
- アルコール類やスプレー式の殺虫剤など、引火性の物に近い場所。
- 窓際で、雨などがかかる恐れのある場所。

■ 電源電圧・周波数について

- 電源電圧は交流100ボルトをご使用ください。
- 電源周波数は 50Ｈｚ、60Ｈｚのどちらの地域でもそのまま使用できます。

接続方法および本体各部の名称と使い方

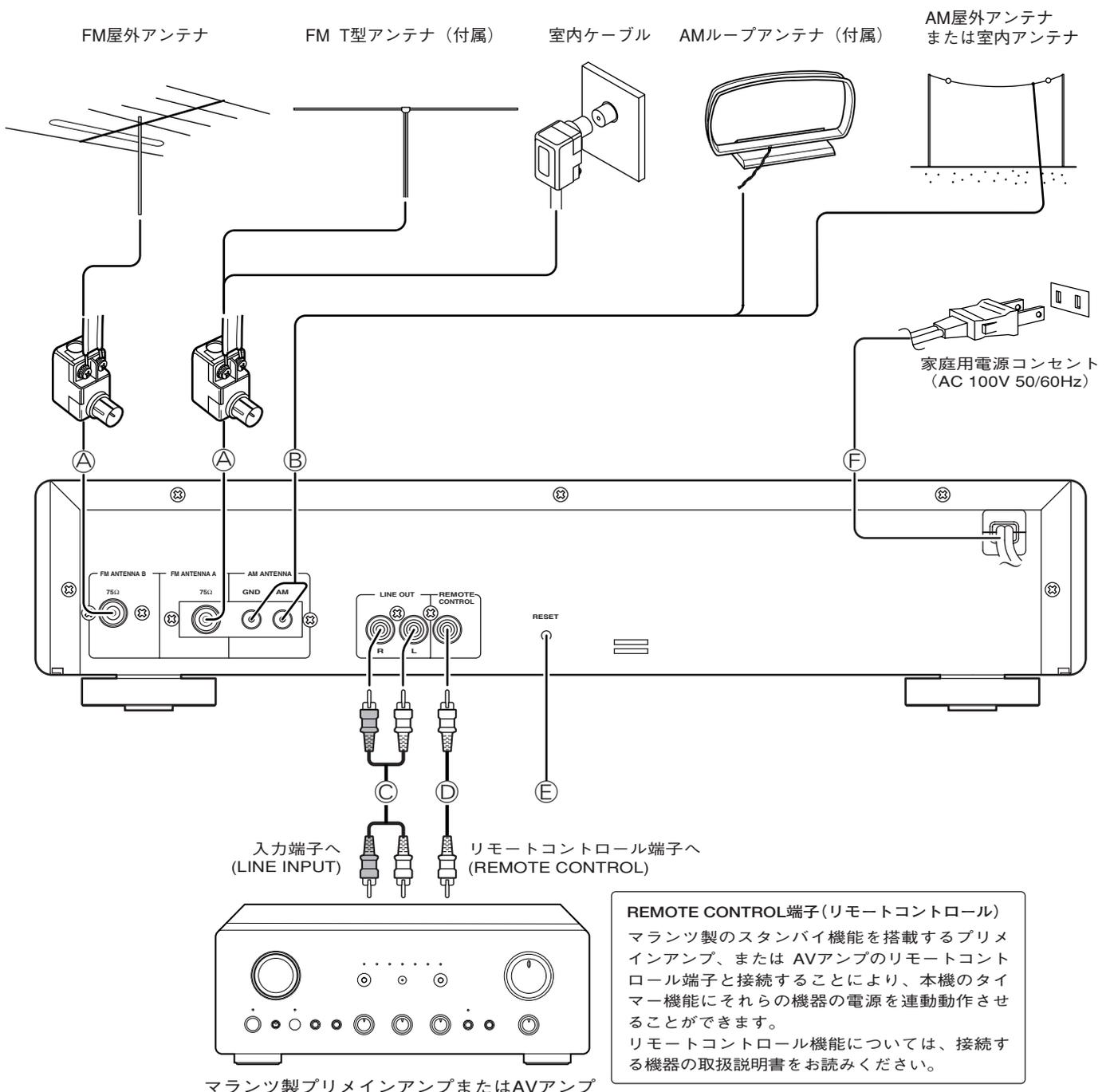
接続のしかた

ご注意：

このチューナーをご使用される際には次の順序で他機器と接続してください。

1. FMアンテナを端子Aに接続します。
2. AMループアンテナをAMアンテナ端子に接続します。極性はありません。
3. 出力およびリモートバス端子をアンプのそれぞれの端子に付属しているコードで接続します。（この時、アンプの電源は切っておきます。）
4. チューナーの電源コードを電源コンセントに差し込みます。
5. 以上で接続が終了しました。後はよく聞こえるようにアンテナの方向を合わせます。

REMOTE CONTROL端子（リモートコントロール）

マランツ製のスタンバイ機能を搭載するプリメインアンプ、または AVアンプのリモートコントロール端子と接続することにより、本機のタイマー機能にそれらの機器の電源を連動動作させることができます。
リモートコントロール機能については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。

各部の名称と使い方（リアパネル）

Ⓐ FMアンテナ入力端子（A、B）

FM専用アンテナを接続する端子です。オートメモリーをするためにはこの端子にアンテナを接続する必要があります。詳しくは10ページを見て下さい。

Ⓑ AMアンテナ入力端子

付属のAMアンテナを接続する端子です。

Ⓒ 出力端子

音声出力端子です。アンプのTUNER端子L、Rに極性を合わせて接続します。

Ⓓ リモートコントロール端子

マランツ製のスタンバイ機能を搭載するプリメインアンプ、または AVアンプのリモートコントロール端子と接続することにより、本機のタイマー機能にそれらの機器の電源を連動動作させせることができます。

Ⓔ リセットスイッチ

リモコンまたは本体のボタンを押しても動作しないとき、リセットスイッチを軽くボールペンの先等で押してください。

Ⓕ 電源コード

家庭の電源コンセント（AC100V）に接続します。

■ アンテナの接続

● FMアンテナ

FMステレオ放送は電波の性質上、モノラル放送に比べてノイズ（雑音）がやや多く聞こえます。また、FM放送は地域や場所によって電波が著しく弱くなります。ノイズの少ないFMステレオ放送を受信するためには、外部アンテナが大変重要な働きをします。電波の強さに応じた外部アンテナを選んで接続することをおすすめします。なお、アンテナ設置方法も十分考慮してください。

● FM専用アンテナについて

アンテナ入力端子にFMアンテナを接続する場合、300Ω平行フィーダーと75Ω同軸ケーブルを使う方法があります。
チューナーの性質をフルに発揮させせるためには、75Ω同軸ケーブル（3C-2V、5C-2V）をおすすめします。同軸ケーブルは外部からの妨害電波を防ぎます。

● 付属のFM T型アンテナについて

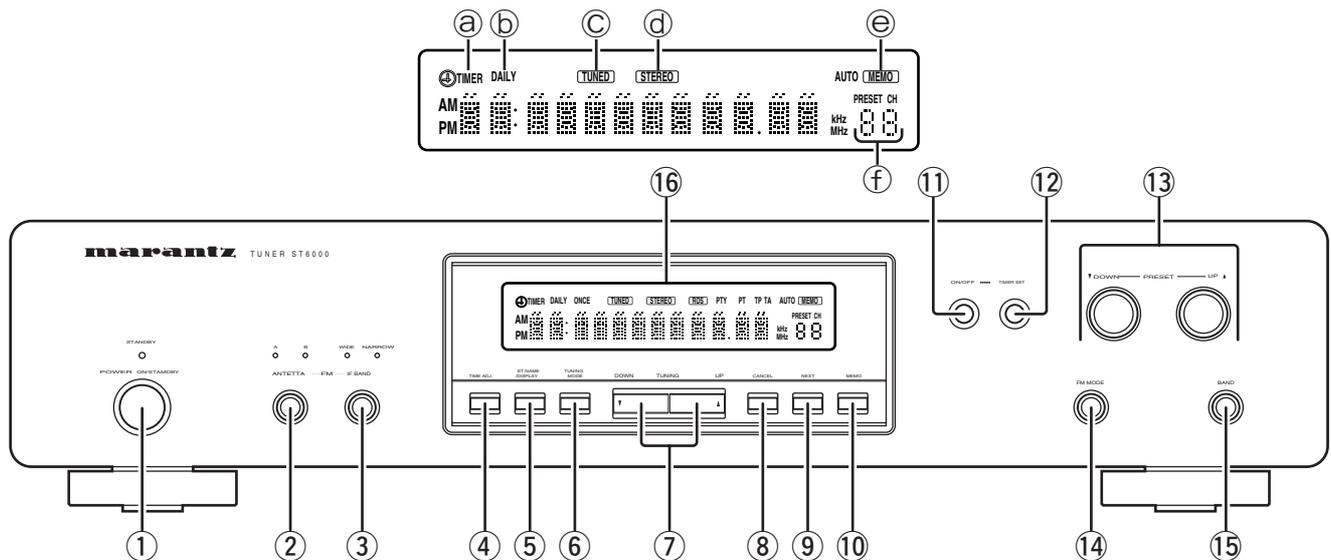
このアンテナは電波の強い地域で専用アンテナを設置するまでの間、放送を手軽に受信していただくためのものです。アンテナの両端を水平に伸ばし、左右に回転させたり、上下に動かして、最も受信状態の良い位置で天井か壁に固定します。

● 付属のAMループアンテナについて

このアンテナはシステムやラックの上に設置します。
良好に受信できる場所を探して設置してください。

● AM屋外アンテナ

AM放送局が遠い場合や山間部、また鉄筋ビル内などの弱電波地域では、電柱、高圧線、高い建物、道路から離れた屋外や窓際にAM屋外アンテナを設置し、本機のアンテナ端子の“AM”に、図のように必ず付属のループアンテナのリード線と一緒に接続してください。
AM屋外アンテナは、ビニール被覆線を数m水平に設置してください。

各部の名称と使い方（フロントパネル）

① POWER ON/STANDBY ボタン

このボタンは電源オン、スタンバイ（待機）の切り替えに使います。

② ANTENNA A/B ボタン

このボタンは、FM アンテナ端子のＡかＢかを選択するときに使います。

③ IF BAND ボタン

このボタンは、FMの帯域幅を選ぶときに使います。

④ TIME ADJ. ボタン

このボタンは、現在の時間を合せるときに使用します。

⑤ ST.NAME/DISPLAY ボタン

このボタンは、表示状態の選択のときに使います。また放送局の名前をメモリーするときにも使います。

⑥ TUNING MODE ボタン

このボタンは、手動でチューニングをより正確な受信状態にするときに使います。
FM放送を受信するときにだけ調整が可能です。

⑦ TUNING ▲ ▼ (UP/DOWN) ボタン

このボタンはセットの受信周波数のアップ・ダウンに使います。

⑧ CANCEL ボタン

このボタンは入力した放送局の名前やタイマープログラムを消去するときに使います。

⑨ NEXT ボタン

このボタンは、時間調整（時刻合せ）や放送局の名前を入力するとき、次のステップに進めるときに使います。

⑩ MEMOボタン

このボタンは、放送局をメモリーするときに使います。

⑪ TIMER ON/OFF ボタン

このボタンは、タイマープログラムをオン・オフするときに使います。

⑫ TIMER SET ボタン

このボタンは、タイマープログラムを設定するときに使います。

⑬ PRESET ▲ ▼ (UP/DOWN) ボタン

このボタンでプリセット局（記憶させた放送局）の選択をします。

⑭ FM MODE (STEREO/MONO) ボタン

FM ステレオ放送を受信しているとき、このボタンを押すことでモノラルモードに切り替えられます。

⑮ BAND ボタン

このボタンは、バンド（FM、AM）を選択するときに使います。

⑯ 表示

ⓐ TIMER表示

タイマー が動作するようにセットされているときに点燈します。

ⓑ DAILY 表示

タイマープログラムで毎日動作させるモードを選んだときに点燈します。

ⓒ TUNED表示

放送局を受信しているときに点燈します。ただし弱い電波の受信状態では点燈しません。

ⓓ STEREO表示

ステレオ放送を受信しているときに点燈します。モードボタンでモノーラルにしたときは点燈しません。

ⓔ MEMORY表示

放送局をプリセットメモリーするときにMEMOボタンを押したとき点燈（点滅）します。

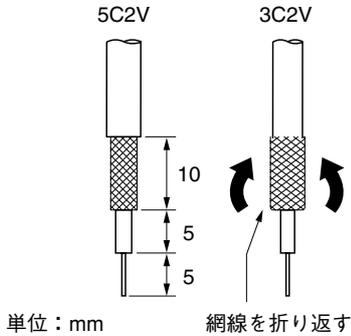
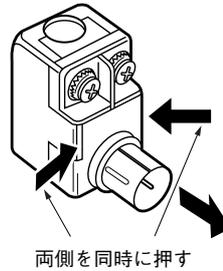
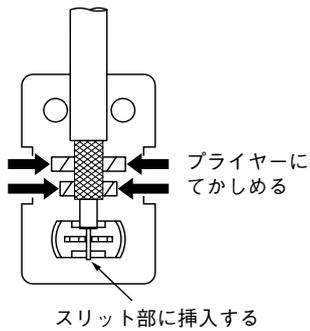
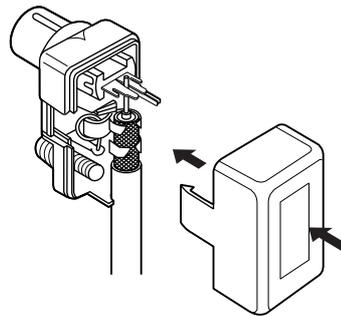
ⓕ プリセットチャンネル表示

プリセットメモリーされている番地の数字を表示します。

アンテナについて

アンテナアダプターの取付けかた

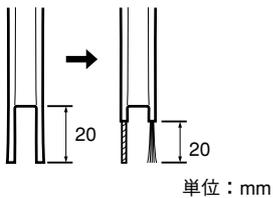
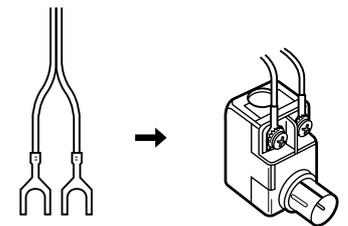
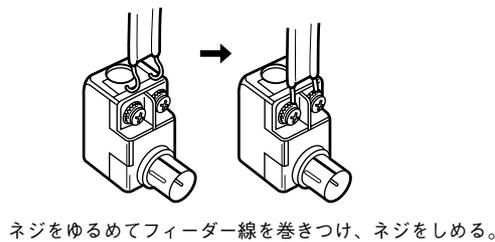
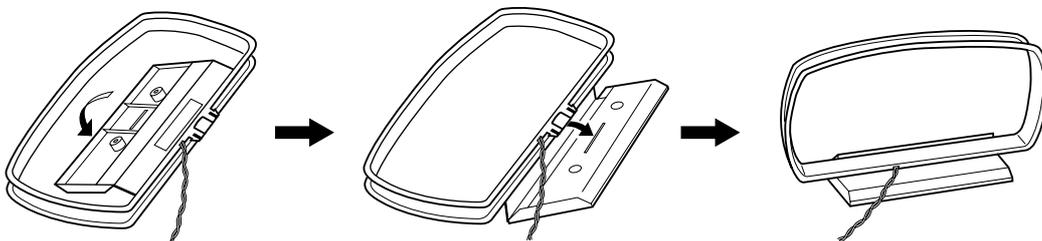
● 75 Ω同軸ケーブルの場合

① ケーブルの先端を加工する。

② カバーをはずす。

③ 図のようにケーブルを取付ける。

④ カバーをもとに戻す。

● 300 Ω平行フィーダーの場合

① 300 Ω平行フィーダー線を加工する。

② 300 Ω端子に取付ける。

ネジをゆるめてフィーダー線を巻きつけ、ネジをしめる。

付属のFMアンテナを使用する場合は、
フィーダー線の加工は必要ありません。

AM アンテナは下図のように組立てて、ご使用ください。

本体での操作方法

■ プリセットメモリー

a. 手動でプリセットメモリーをする

例）FM84.00MHzをプリセットチャンネル10(番地)にメモリーする

1. BAND ボタンでセットをFMにします。
2. 84.00MHzをTUNING ▲ ▼ ボタンで合わせます。（受信させます。）
3. MEMO ボタンを押します。表示管に"MEMO"が点燈（点滅）します。
4. PRESET ▲ ▼ ボタンでプリセットナンバーを10に選びます。
5. MEMO ボタンを再び押します。
6. "MEMO"表示が消えてプリセットメモリーの操作が完了しました。
7. 引き続き他の放送曲をメモリーしてください。

b. 自動でプリセットメモリーをする。

本機には自動で受信できる放送局をプリセットメモリーする機能があります。

操作方法

1. 自動でプリセットメモリーをするバンド（FMかAM）を選びます。
2. MEMOボタンを少し長く（1.5秒以上）押し続けます。
3. するとセットは自動的にサーチを始め放送局がある所で止まりメモリーをして再び自動受信を続けます。受信可能範囲を一回サーチして終了します。

注意）

1. FMバンドでのオートチューニングはアンテナAを自動的に選択します。
   従ってFMアンテナは必ずアンテナA に接続しておいてください。
2. 電波が弱い放送局（ステレオ放送が受信出来ない電界強度）はオートメモリーできません。**"**a.手動でプリセットメモリーをする**"**を参考にメモリーしてください。

■ FM 放送の受信

1. BAND ボタンでFMを選びます。
2. TUNING ▲ ▼ ボタン.あるいはPRESET ▲ ▼ボタンで放送局を選択します。
3. 受信すると"**TUNED**"、"**STEREO**"（ステレオ放送の時）と表示されます。
   もしその時 その放送局の電波が弱くノイズが多いならばMODEボタンでモノラルに変えます。
4. 受信状態によりFM中間周波数帯域幅（WIDE/NARROW）を選びます。
   - WIDE ： 受信した放送局の周辺に他の放送局が無く妨害を受け難い時このモードを選びます。
   - NARROW ： 受信した放送局に接近して他の放送局があり妨害を受けやすい時このモードを選びます。

■ FINE チューニングについて

FMワイヤレスマイクの受信など周波数が正確に設定できない機器の受信に対して特に効果があります。

操作方法

1. FINE/MANUAL ボタンを押します。
2. するとチューニング周波数は10kHzづつ切り換わるようになります。これでより正確な受信を得ることができます。

注意）

この機能はFM放送を受信する時だけ有効です。

■ AM 放送の受信

1. BAND ボタンでAMを選びます。
2. TUNING ▲ ▼ ボタン.あるいはPRESET ▲ ▼ ボタン.で放送局を選択します。
3. 受信すると"**TUNED**"と表示されます。
   その時，放送局の電波が弱くノイズが多く聞こえる時はループアンテナを放送局の方向に向けて良く聞こえる様に調整します。

注意）

鉄筋構造の建物でループアンテナの設置場所が窓から遠い場合,電波は減衰して受信感度が低下します。AMループアンテナの設置場所等を工夫して受信感度を上げる様にしてください。

■ 時計機能の設定

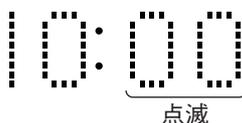
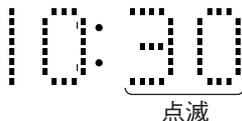
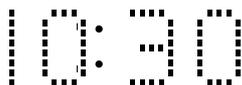
本機の電源がオン、オフに関わらず時計(時刻)を合せる事ができます。

設定方法

例) 10時30分に合せる

1. TIME ADJ.ボタンを押します。
   ディスプレイ表示は以下のようになります。

2. TUNING ▲ ▼ ボタンで"時"を合せます。

3. これで良い場合はNEXTボタンを押します。すると"分"表示の場所が点滅します。

4. "分"をTUNING ▲ ▼ ボタンで合せます。

5. 時報に合せてNEXTボタンを押します。これで時計(時刻)合せが完了しました。

注意)

時計機能は本機への電源が常に供給されていないと働きません。本機の電源はご家庭の壁コンセントに直接接続してください。アンプ等の機器のコンセントを利用する場合は、必ずUNSWITCHED端子に接続してください。

■ タイマープログラムの設定 (毎日、決まった時間に動作させる)

より正確な時間で動作させる場合は再度時刻合せをした後セットしてください。

注意)

1. タイマープログラムによりマランツ製プリメインアンプ等を連動動作させる場合は、6ページの説明にしたがい、両機のリモートコントロール端子間を接続してください。
2. タイマープログラムによりカセットデッキ等を連動動作させる場合は、マランツ製PM4400など電源に連動するコンセントを持つプリメインアンプ等を使用するか、市販のオーディオタイマーを合わせて使用する必要があります。各機器の設定等はお使いになる機器の取扱説明書をお読みください。

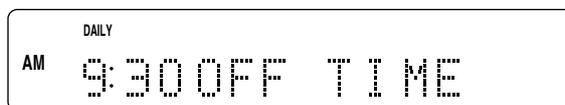
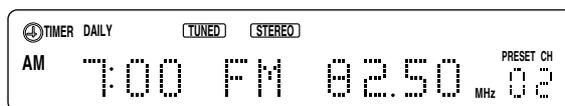
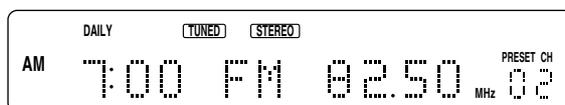
操作方法

例) 午前7時30分から午前9時30分まで動作させる。

1. TIMER SETボタンを押します。

2. 次に時計機能の設定と同じ操作をし、TUNING ▲ ▼ ボタンとNEXTボタンでAM7:30を表示させせます。

3. NEXTボタンを押します。

4. 次にTUNING ▲ ▼ ボタンとNEXTボタンでAM9:30を表示させせます。

5. 次にNEXTボタンを押します。現在の時間表示に戻り、タイマープログラムの設定が完了します。

タイマー動作をさせない時はTIMER ON/OFFボタンを押してTIMER表示を消しておきます。タイマー動作をさせる時は再度TIMER ON/OFFボタンを押してTIMER表示を点燈させておきます。

■ タイマープログラムの確認

TIMER SETボタンを押すと、設定されている開始時間(ON TIME)を表示します。さらに、TIMER SETボタンをもう一度押すと、設定されている終了時間(OFF TIME)を表示します。もう一度TIMER SETボタンを押すと、現在の時間表示に戻ります。

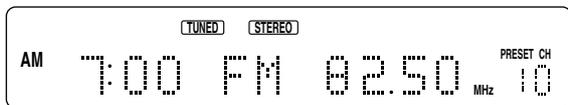
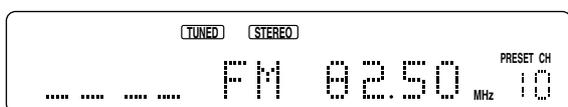
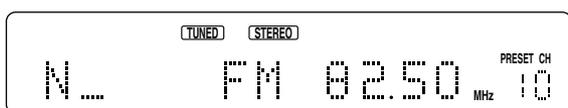
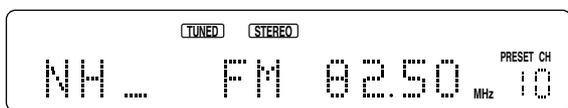
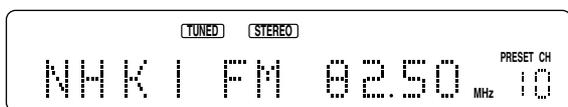
■ タイマープログラムの解除

タイマープログラム設定中にCANCELボタンを長押しすると、タイマープログラムを解除します。

■ ファイリング機能
（放送局名などを自分で記録する）

操作方法

例）FM 82.50 MHz で、プリセットCH-10に ステーション名 NHK 1とセットする

1. プリセットされたチャンネル10 を選びます。

2. ST.NAME/DISPLAYボタンを少し長く（1.5秒以上）押し続けます。
   すると時計表示が横棒になります。

3. Nの文字をTUNING ▲ ▼ ボタン で選びます。

4. 希望する文字が現れたらNEXTボタンを押します。するとカーソルは、1つ先に動きます。

5. 3.と同様にTUNING ▲ ▼ ボタンとNEXTボタンを使いNHK 1と表示させます。

点滅　NEXTを押す　点滅　NEXTを押す　点滅

6. 全て終了したらMEMOボタンを押します。
7. ST.NAME/DIDPLAYボタンを押して入力したファイル名が現れることを確認してください。

■ プリセットした放送局の削除

1. 削除したい放送局を呼び出します。
2. MEMOボタンを押します。表示管に“**MEMO**”が点滅します。
3. CANCELボタンを長押しすると放送局が削除されます。

リモコンの使用について

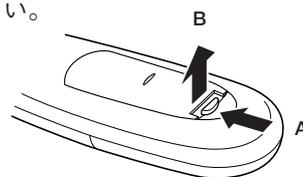
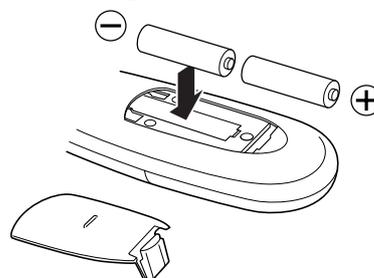
乾電池の取り扱い方

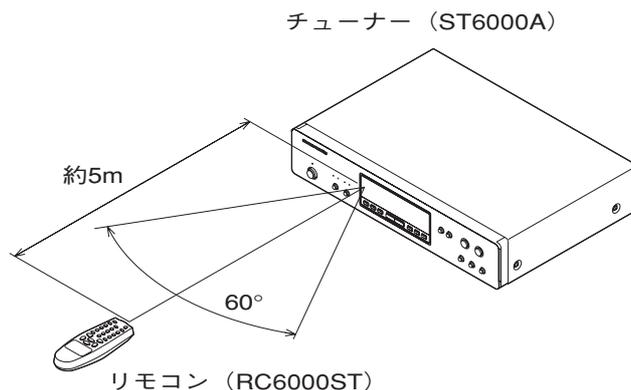
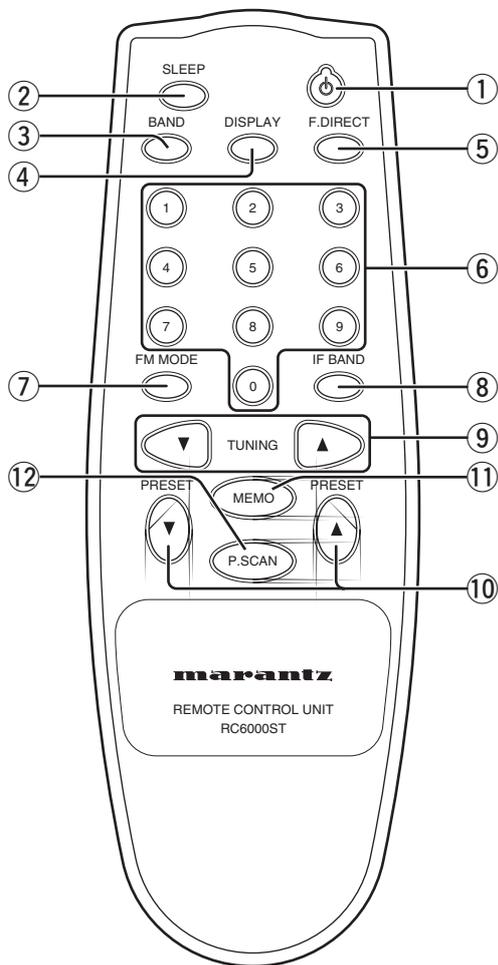
乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険がありますので、次の点について特にご注意ください。

- 乾電池のプラス＋とマイナス－の向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますから、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の表示をよく見てご使用ください。

■ 電池の入れ方

このリモコンの電池の寿命は、普通の使い方で約1年です。長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。また弱ってきた電池は、早めに交換してください。

① A方向に押しながらB方向に押し上げて、電池カバーを開けてください。

② 極性を正しく、電池を挿入してください。

■ リモコンの使用できる範囲

リモコン（RC6000ST）とチューナー（ST6000A）の赤外線受光窓との間は約5m以内です。リモコンの送信窓を受光窓と違う方向に向けたり、送信窓と受光窓の間に障害物があると、操作できないことがありますのでご注意ください。

リモコンの各部の名称と使い方

① Power ON/OFF ボタン

このボタンは、電源オンかスタンバイ(待機)の選択に使います。

② SLEEP ボタン

このボタンを押して、スリープタイマー(お休みタイマー)の時間設定を行います。10/20/30/60/90/OFF 分の設定ができます。スリープタイマーを取り消す場合はこのボタンでオフにするかPOWERボタンで電源をオフ(スタンバイ)にするとキャンセルされます。

③ BAND ボタン

FMかAMのバンドを選択するボタンです。押す毎にバンドが替ります。

④ ST.NAME/DISPLAY ボタン

このボタンを押すとプログラムされた名前、周波数、アンテナ入力レベルの表示を切り替えることができます。

⑤ F. DIRECTと⑥ 数字(0 ～ 9) ボタン

放送局の周波数をリモコンで直接入力する事によりその放送局を直接受信するボタンです。

1. リモコンの F.DIRECT ボタンを押します。
2. 次に希望する放送局の周波数を数字(0～9)ボタンで順番に押します。
(放送局の周波数は新聞等に記載されています)

例) FM 84.0 MHz をリモコン操作で直接受信する

a. バンドがFMであるか確認します。AMの場合はBANDボタンを押しFMにします。
b. リモコンのF.DIRECTボタンを押します。
表示していた周波数が消えます。 _ _._ _ の表示が現れます。
c. 次に数字ボタンの 8 を押します。 8 _._ _ の表示が現れます。
d. 次に数字ボタンの 4 を押します。 84._ _ の表示になります。
e. 次に数字ボタンの 0 を押します。 84.0 _ の表示になります。
f. 次に数字ボタンの 0 を押します。 84.00 の表示になりTUNEDやSTEREO 表示が点燈して音が聞こえてきます。
AM放送の直接受信はAMバンドにして同じ様な操作をしてください。

⑦ FM MODE ボタン

FM放送のステレオまたはモノラルを選択するボタンです。

⑧ IF BAND ボタン

FM の中間周波数帯域幅の切り替えボタンです。

⑨ TUNING ▲▼ ボタン

受信周波数を上げたり下げたりするときに使うボタンです。少し長く押し続けるとオートチューニング動作を開始します。(本体と同じ動作)

⑩ PRESET ▲▼ ボタン

プリセットチャンネルを上げたり下げたりする時に使うボタンです。

⑪ MEMOボタン

プリセットメモリーをする時使うボタンです。本体の操作と同じです。

⑫ P.SCAN(プリセット・スキャン)ボタン

プリセットメモリーされた局を自動的に5秒ずつ受信し再生して行く機能です。聞きたい放送局があった場合、再度このボタンを押すことでその放送局を止める事ができます。

故障とお考えになる前に

故障かな?と思われましたら下記の項目を確認してみてください。意外な操作の間違いで故障と思われることがあります。下記の事項の確認やリセット操作でもセットが正常に動作しない場合は、お買い上げになりました販売店、お近くの日本マランツ(株)各営業所、又は弊社サービスセンターにご相談下さい。

★ 電源が入らない(何も表示しない)

1. 電源コードが正しくＡＣコンセントに差し込まれていますか?
2. アンプ等の機器のコンセントにこのチューナーのＡＣプラグを差し込んでいる場合、それらの機器のアウトレットの電源はオンされていますか?

★ ディスプレー表示は動作しているがスピーカーより音が出てこない。

1. アンプのTUNER端子にチューナー出力が正しく接続されていますか?
2. アンプのボリュームが最小、スピーカースイッチがオフ、TAPE モニターがオン、ミュートがオンになっていませんか?
3. アンテナは正しく接続されていますか? 特にＦＭアンテナは２つのアンテナ端子が有ります。アンテナ端子の選択状態を再度確認して下さい。

★ FM放送の音がおかしい ノイズが多い、歪んだ音がする。

1. アンテナ端子に正しくアンテナが接続されていますか?端子の選択は間違っていませんか?
2. 設置している周辺でパソコン、ワープロ、TVゲーム機器等の高周波が発生する機器の電源が入っていませんか?
3. アンテナの方向は正しいですか?

★ AM放送の音がおかしい ノイズが多い。

1. ループアンテナの方向は正しいですか?
2. 周辺にノイズを出す機器(インバーターエアコン、蛍光燈等)が作動していませんか?
3. 鉄筋構造の家屋で使用していませんか?

★ リモコンで動作しない

1. 受光窓に対して正面から送信していますか?
2. 電池が消耗していませんか?
3. 電池の極性は正しいですか?
4. 受光窓の近くにノイズを出す機器が作動していませんか?

★ リモコンまたは本体のボタンを押しても動作しない時

1. リセットスイッチを軽くボールペンの先端で押してください。

ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮(思いやり)を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

お手入れ

- 製品が汚れたときは柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を５～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。

   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。

   お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。

   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度"故障とお考えになる前に"をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、次の処置をしてください。

ご連絡いただきたい内容

1)	品名	チューナー
2)	品番	ST6000A
3)	お買い上げ日	年　月　日
4)	故障の状況	(できるだけ具体的に)
5)	ご住所	(近所の目印等も併せてお知らせください)
6)	お名前	
7)	電話番号	
8)	訪問ご希望日	

規　格

FM部

受信周波数範囲(10kHzステップ：ファインチューニング時)
...........76 MHz ～ 90 MHz　50 kHz ステップ
実用感度(モノラル) 1.2μV
高調波歪率(1 kHz：ワイドモード)
　モノラル 0.08%
　ステレオ 0.15%
S/N比
　モノラル .... 80 dB
　ステレオ .... 75 dB
選択度(400 kHz)
　ワイドバンド .... 65 dB
　ナローバンド .... 80 dB
周波数特性 .... 20 Hz to 15 kHz(+1.0, -3.0 dB)
イメージ妨害除去比 .... 70 dB
AM抑圧比 .... 55 dB
ステレオセパレーション(1 kHz) .... 50 dB

AM部

受信周波数範囲 .... 522 kHz to 1620 kHz(9 kHz step)
実用感度(ループアンテナ) .... 50 dBμV /m
S/N比 .... 50 dB
高調波歪率(400Hz) .... 0.8 %
イメージ妨害除去比 .... 35 dB

一般事項

使用電圧・周波数 .... AC 100V 50/60 Hz
消費電力(電気用品安全法) .... 11 W
最大外形寸法 .... 440 x 96 x 307 m/m
質量 .... 3.8 kg

付属品

RCバス接続コード 1
出力コード(ステレオ) 1
FM 室内アンテナ(簡易型) 1
FMアンテナアダプター 1
AM ループアンテナ 1
リモコンユニット(RC6000ST) 1
電池(単4) 2
取扱説明書 1

本機の規格及び外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承下さい。